

(平成18年8月分)

部 門	市況の概要
野 菜	8月期の野菜の市況については、全般的に7月下旬の大雨による被害が入荷に直接影響を受けることとなったが、品目によっては安定した入荷もあり、全体としては、昨年並みの入荷量を確保した。 価格は、7月下旬の一時的な大雨による被害によって、野菜全体の品薄感の高まりから、相場を高騰させることとなり、結果として、前年同期を34%上回った。 品目別には、白菜、キャベツ、ほうれんそう、きゅうり、なす、ピーマン、まつたけが入荷減の単価高で推移し、長大根、西洋にんじん、トマト、たまねぎが入荷増ながら単価高で推移した。ばれいしょは、前年並みの入荷ながら単価安となった。 根菜類は、入荷が8%増加し、価格は28%高となった。 葉菜類は、入荷が6%減少し、価格は56%高となった。 果菜類は、入荷が4%減少し、価格は50%高となった。 土物類は、入荷が4%増加し、価格は前年並みとなった。
果 実	8月期の果実の市況については、もも、ぶどう、梨を始め、ほとんどの品目が日照不足の影響から着色・生育不良が生じて入荷量が減少し、全体としては、前年同期を10%下回った。 価格は、入荷減に加えて、主力品目のお盆需要の伸びから前年同期を14%上回った。 柑橘類は、入荷が21%減少し、価格は13%高となった。 りんごは、入荷が31%減少し、価格は9%高となった。 梨類は、入荷が31%減少し、価格は26%高となった。 もも類は、入荷が9%減少し、価格は34%高となった。 ぶどうは、入荷が9%減少し、価格は6%高となった。 メロンは、入荷が11%減少し、価格は9%高となった。 スイカは、入荷が7%増加し、価格は23%高となった。

【果菜類】 きゅうり	福島，京都，愛媛を中心とする入荷。7月の長雨の影響から前半は入荷量が不安定であったが，中旬以降に回復し，結果として，入荷量は前年並みとなった。 価格は，前年並みの入荷ながら，野菜全般の高値基調から前年同期を55%上回った。
なす	京都を主力に徳島，高知，奈良を中心とする入荷。7月の長雨とその後の早魃・高温の影響を受け，花落ちの発生や生育・作柄ともに悪く，結果として，入荷量は前年同期を21%下回った。 価格は，入荷減に加え，漬物需要や量販店需要により高騰し，前年同期を97%上回った。
トマト	北海道を主力に京都，岐阜を中心とする入荷。他の野菜の高値推移に支えられた中で，トマトについても販売価格が良好となり入荷が安定した。結果として，入荷量は前年同期を5%上回った。 価格は，販売環境が良く，入荷増ながら前年同期を26%上回った。
ピーマン	大分，茨城を中心とする入荷。各産地ともに7月の長雨の影響から作柄悪く，入荷量は前年同期を14%下回った。 価格は，入荷減から期間を通して高値推移となり，前年同期を84%上回った。
【土物類】 ばれいしょ (メーク含む)	北海道，青森を中心とする入荷。定植の遅れに加えて，春先からの天候不順により，生育に遅れが生じ，小玉傾向となった。入荷量は小玉ながら，比較的安定した入荷となり，結果として，前年並みとなった。 価格は，小玉傾向と夏場の消費低迷により，前年同期を17%下回った。
たまねぎ	兵庫を中心に北海道からの入荷。各産地ともに比較的順調な入荷となり，入荷量は，前年同期を16%上回った。 価格は，野菜全般の高値推移と安価な輸入野菜の入荷減により，販売が良好で，前年同期を14%上回った。
【菌茸類】 まつたけ	中国を中心とする入荷。中国の早魃の影響から入荷が少なく，昨年豊作であった北朝鮮も少なかった。結果として，入荷量は前年同期を29%下回った。 価格は，入荷減から高値推移し，前年同期を18%上回った。

主要品目（果実）	市況の概況
ハウスみかん	佐賀，長崎，和歌山からの入荷。各産地ともに春先からの日照不足・曇天の影響により，入荷量は，前年同期を21％下回った。 価格は，入荷減に加えて，化粧箱を中心とする上位等級の高値もあって前年同期を13％上回った。
つがる （サン含む）	長野を中心とする入荷。梅雨明け後の高温の影響から，着色に遅れが生じ，入荷量は大幅に減少した。結果として，入荷量は前年同期を14％下回った。 価格は，入荷減による品薄から期間を通して高値で推移し，前年同期を13％上回った。
幸 水	佐賀，長野，徳島，鳥取を中心とする入荷。各産地ともに日照不足・曇天の影響から出荷に遅れと品質低下が生じた。結果として，入荷量は前年同期を48％下回った。 価格は，大幅に入荷量が減少したことによって，結果的に前年同期を32％上回った。
も も	和歌山，山梨，長野，福島を中心とする入荷。各産地ともに日照不足・曇天の影響から着色に遅れが生じた。出荷にあたって，着色を待っていたが，中身が過熟したことによる産地でのロスもあり，結果的に，前年同期を10％下回った。 価格は，入荷減に加え，盆需要もあって大玉を中心に高値で推移し，前年同期を34％上回った。
デラウェア	山梨，山形を中心とする入荷。先月から遅れていた出荷が順調に回復し，前年同期を3％上回った。 価格は，盆需要に支えられ，パックものを中心に需要が多く，前年同期を13％上回った。
巨 峰	長野，福岡を中心とする入荷。各産地ともに7月の日照不足・曇天の影響から下位等級が多く，入荷量は前年同期を16％下回った。 価格は，盆需要により上位等級を中心に高値推移となり，結果的に前年同期を4％上回った。
アールスメロン	静岡，愛知，茨城，長野からの入荷。高知，宮崎が終了していく中で，茨城，長野の後続産地からの順調な入荷により，入荷量は前年同期を11％上回った。 価格は，入荷増ながら，盆需要に支えられ，前年並みとなった。

すいか	福井，石川，長野，秋田，山形からの入荷。7月の長雨の影響から福井，石川は極端に入荷が減少したが，後続の長野，秋田，山形ともに順調に入荷し，結果として入荷量は前年同期を6％上回った。 価格は，入荷増ながら高温であった販売環境にも恵まれ，前年同期を23％上回った。
-----	--